

JAPAN YUMEJI LOVED

A "Bohemian" in the country of cherry blossoms

夢二が愛した日本

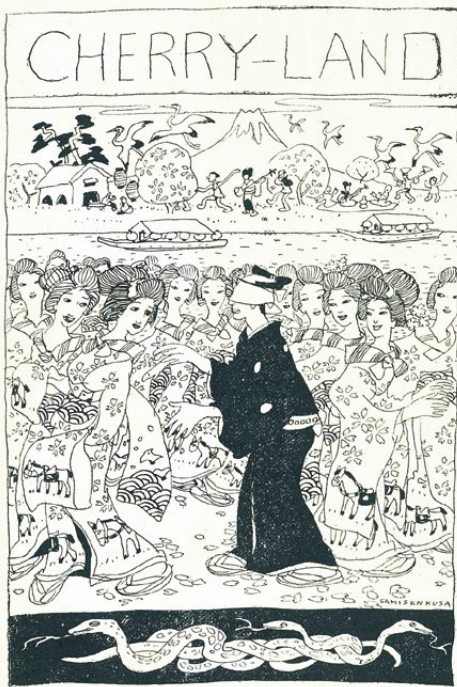
桜さく国のボヘミアン

「人間は、朝日に匂ふ山櫻、我等は櫻さく東の島に生れたことを祝福しよう。」

紅の紙燈と鳥居と、屏風と江戸繪と、武士道と富士山と、岩佐又兵衛と喜多川歌麿とを生みたる東の磁器國のために杯を擧げようではないか。

(中略) 我等は好戰國の國民としてではなく、一の旅人として、この美しき歴史と麗しき島國とを眺めようではないか。そして我等の時代の最も自由なそして廣い意味の日本畫を描きたいとおもふ。」

竹久夢二『櫻さく國』発行のことは明治四十四年(一九一七)



竹久夢二「加茂の露台」大正初期

入館には
オンラインによる
事前予約(日時指定)
が必要です

2020年
10月31日(土)

2021年
1月31日(日)

大正ロマンの画家として知られる竹久夢二。和と洋の要素が絶妙なバランスで混在するところが、その作品の魅力のひとつです。今回の展示では夢二の「和」の部分、夢二の作品における日本らしさや、日本への思いに注目します。夢二は国を持たずさらう旅人に自らを重ね心を寄せた一方、日本への愛着もひとしおでした。ふるさとの思い出、江戸への憧憬、舞妓、着物、旅先の風景……。夢二ならではの視点でとらえた日本の姿をご覧ください。



竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2
TEL 03(5689)0462

開館時間

午前10時半～午後4時半(最終入館4時まで)

休館日 月・火曜日(年末年始12/28～1/2)

ただし11/3④11/23⑤1/11⑥開館11/4④休館

入館料

一般1000円/大・高生900円/中・小生500円

※弥生美術館も併せてご覧頂けます。